慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	学界の消息
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1912
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.6, No.1 (1912. 1) ,p.167- 169
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19120100-0167

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

せんかの實際問題を研究せんが爲なり

抑も心理學上より觀たる財政問題に(一)財政上の意識作用と、(二)財政上の感覺作用とあり豫算の分取主義の如きは初めは意識作用なるが習慣の爲無意識作用となり終ると多し故に租稅の感覺作用を論ずるに當りて先づ稅の性質より始めん納稅者は戰時稅を平時稅よりも輕く感じ、古き稅を新らしき稅よりも輕く、物稅を人稅よりも、間接稅を直接稅よりも、收入稅を收出稅よりも、富勞稅を勤勞稅よりも、享樂稅を生產稅よりも、奢侈品稅を必要品稅よりも、公平と信ずる稅を不公平と信ずる稅よりも輕く感ず

又課稅の方法に就きて之を論ぜば一年に一回の課稅は數回の課稅よりも(農民は例外)、一回稅務官と交涉するを要する稅は數回の交涉を要する稅よりも、嚴重ならざる稅は嚴重なる稅よりも公平なる課稅と思ふ方不公平と思ふよりも、又自己の競爭者の脫稅なき稅は脫稅ある稅よりも輕く感ぜらるゝを常とす

課稅以外の事情中の二三を論ぜば經費の不法支出を認めたる時又は自己のみに不利益なる支出ありたりと信じたる場合には租稅は重く感じらるべし又官僚跋扈せる場合には民意を尊重する場合よりも重く感ずべし

之を納稅者の立場より論ぜば貧困者は富豪より絕對的費用を多く要する者は然らざる者よりも租稅を重く感ずるならん又奢侈的の習慣を有する人は重く感じ公共心の厚き人は輕く感ず借財の返濟期に迫れる者は重く感じ全體の景氣の良き時は輕く感ず

右の數點を根據として財政々策の最良方針を示せば(一)民意の尊重、(二)公共團體の經費を節減すること、(三)右の結果として減稅すること(生產業稅を輕くし富勞稅及奢侈品稅を重くすべし)(四)課稅の公平、(五)國民經濟の發達に注意する等即ち是れ也

學界の消息

日本

◉ヴイルブラント教授の來朝　チイビンゲン大學にて經濟原論、經濟政策、社會主義等の講義を擔任せるヴイルブラント教授は過般來朝東京に滯在して我國の農業信用組合の調査に從事せられつゝありしが先月下旬開催の社會政策會例會に出席後京都に行き其後二三の都市を遊歷して本月中には英領印度に向け出發さるゝと云ふ同教授は以前哲學を專攻せられたるも其後經濟學研究に身を委ぬるに至りたりと今回の來朝には夫人も同伴せるが夫人も亦哲學者なる由

◉高等商業學校の交換教授　東京高等商業學校及神戸高等商業學校間には銀行、海上保險、倉庫等の商業學分科の擔任教授を交換し一學年に一ヶ月若しくは一ヶ月半程科外講義の委托をなさんとの議起り目下詮議中なるが協約成立次第交換の第一着として神戸高商の教授內池廉吉氏は東京高商にて其專攻に係る倉庫論に關し數週間科外講義を試みらるる筈なりと

◉京都帝國大學の新講師　日本經濟史專攻の瀧本誠一氏は昨秋京都帝大の囑托を受け其專攻學科を講義せられたり

◉財部靜治氏の留學　京都帝國大學助教授なる同氏は今回統計學研究の爲め獨逸に遊學せられたり

◉統計集誌の改良　東京統計學會の機關雜誌なる同誌は高野博士主管の下に一大改良を加へ本年一月より科學的統計雜誌として發行すると云ふ

◉法科大學の新研究室　東京帝國大學法科にては今回擴大完備の研究室を新設し高野、ヴエンチヒ兩教授監督の下に統計學及び經濟學の研究の便を計ることゝなれり

◉堀江博士の著述　慶應義塾大學教授堀江博士は目下「中央銀行論」の著述に從事されつゝあり載する所は主として日英獨佛の中央銀行に關する博士

の新研究なりと

◉氣賀教授の新著　慶應義塾大學教授ドクトル氣賀勘重氏はフイリッポビッチ經濟政策論下卷の解説を本月中に發表さるゝ豫定なりと

◉フイシヤ氏利率論の抄譯　京都帝國大學助教授河上學士は過般來フ氏利率論の抄譯に從事せられつゝありしが去月完成したるを以て今春出版せらるゝ筈なりと

◉フイシヤ氏資本論及利率論の譯書　文明協會は近々日本銀行員横山昌次郎氏の手に成るフ氏「資本及所得の性質」及「利率論」の譯書を發行する由なり

◉阪谷男爵の歸朝　昨年八月瑞西のベルンに於て開催せられたる萬國經濟學者會議に參列したる前大藏大臣法學博士阪谷男爵は同會議閉會後佛英米諸國を歴訪して昨年十月下旬無事歸朝せられたり

外國

◉新刊雜誌　ベルリンに於て Annalen für Socialpolitik, und Gesetzgebung と稱する雜誌生れたり初號には或る高級官吏の寄稿したる獨逸に於ける地價自然增加課稅を批評せる論文と有名なる統計家クズンスキー博士の草したる大都會に於ける住民の兵士としての能力に關する研究を載せたり

◉フエター教授の轉任　米國屈指の經濟學者フエター教授は多年教鞭を執り居られたるコーネル大學を辭し過般プリンストン大學に招聘せられたり

◉米國經濟學會例會　第二十四回米國經濟學會例會は去月二十七日より三十日迄主府ワシントン市に於て開催する筈なりしと重なる討議問題は關稅移民等にして講演討議者には關稅委員長エメリー氏、プリンストン大學教授フエター氏、エール大學教授ファナム氏（經濟學會々長）及同大學教授フイシヤー氏等あり尙ほ大統領タフト氏併に大藏卿マクビー氏も出席さるゝ筈なりし由タフト氏は中央政府豫算に關する演說をなしマクビー氏は關稅問題討議會の司會をせらるゝ豫定なりしと

◉ベルン萬國經濟學者會議　カーネギー氏が一千萬弗を寄附して設立したる平和會の招待に依り各國の代表的經濟學者及其他は昨年八月二日より十四日迄約二週間瑞西國ベルンに於て會議を開きたり出席者は左の如し

獨逸	ミユーニツヒ大學教授	ヴレンタノ氏
同	伯林大學歴史教授	シヤーマン氏
墺國	ビエナ大學教授	フイリツポヴイツチ氏
同	前大藏大臣	ベームバヴエルク氏
伊國	前總理大臣	ルザツチ氏
同	ローマ大學教授	パンタラリオ氏
佛國	經濟學者	ジード氏
同	佛蘭西經濟雜誌	ボリユー氏
英國	「エコノミスト」雜誌	ハースト氏
同	「スタチスト」雜誌	ベージ氏
米國	ウイスコンシン大學教授	ラインシユ氏
同	コロンビヤ大學教授	クラーク氏
丁抹	コツペンハーゲン大學教授	ウエスカルト氏
和蘭		グラーベン氏
白耳義	上院議員	ラ・フオンテーン氏
瑞西		ボーレル氏
日本	前大藏大臣	阪谷芳郎氏
同	京都帝國大學助教授	小川鄕太郎氏

此外にシユモラー教授及マーシヤル教授も招待を受けたるが老體の故を以て辭退したり會議の目的は戰爭と經濟及歴史との關係を討議研究するにありて用語は英佛獨の三國語の內孰れをも使用し得るゝことゝなし議長には最初フィリッポウィッチ氏を推したるも會議中病氣の爲歸國せられたればボーレル氏之に代りたり尙ほ同會の議事錄は一切發表せざる由なれど二三年中には同會議に出席したる學者及其他が此問題に關して研究せるものを順次發表すると云ふ